



SharePoint のポータルサイト構築にお悩みの方へ

Power 365で使いやすい &
管理しやすい社内ポータルを実現

はじめに

生産性の向上や業務の効率化に、情報共有・情報管理は欠かせません。

社内SNS、チャットツール、共有ストレージ、グループウェアなど、これまで社内の情報伝達をスムーズにするために、様々なツールが導入されてきました。

近年では、より社内コミュニケーションを活性化させる「社内ポータル」を導入する企業が増えています。

本資料では、その社内ポータルを最大活用するためのポイントをご紹介します。失敗しないポータルサイトの構築方法が知りたい方、SharePointの導入・カスタマイズを検討している方はぜひ参考にしてみてください。

CONTENS

なぜ、社内ポータルが求められるのか？

社内のコミュニケーションは時代と主に変わる	3
社内ポータルとはどんなものなのか？	4
社内ポータルのメリットとは	5
社内ポータルの役割	6
社内ポータル導入の課題とは？	7

社内ポータル活用の4つのポイントとは

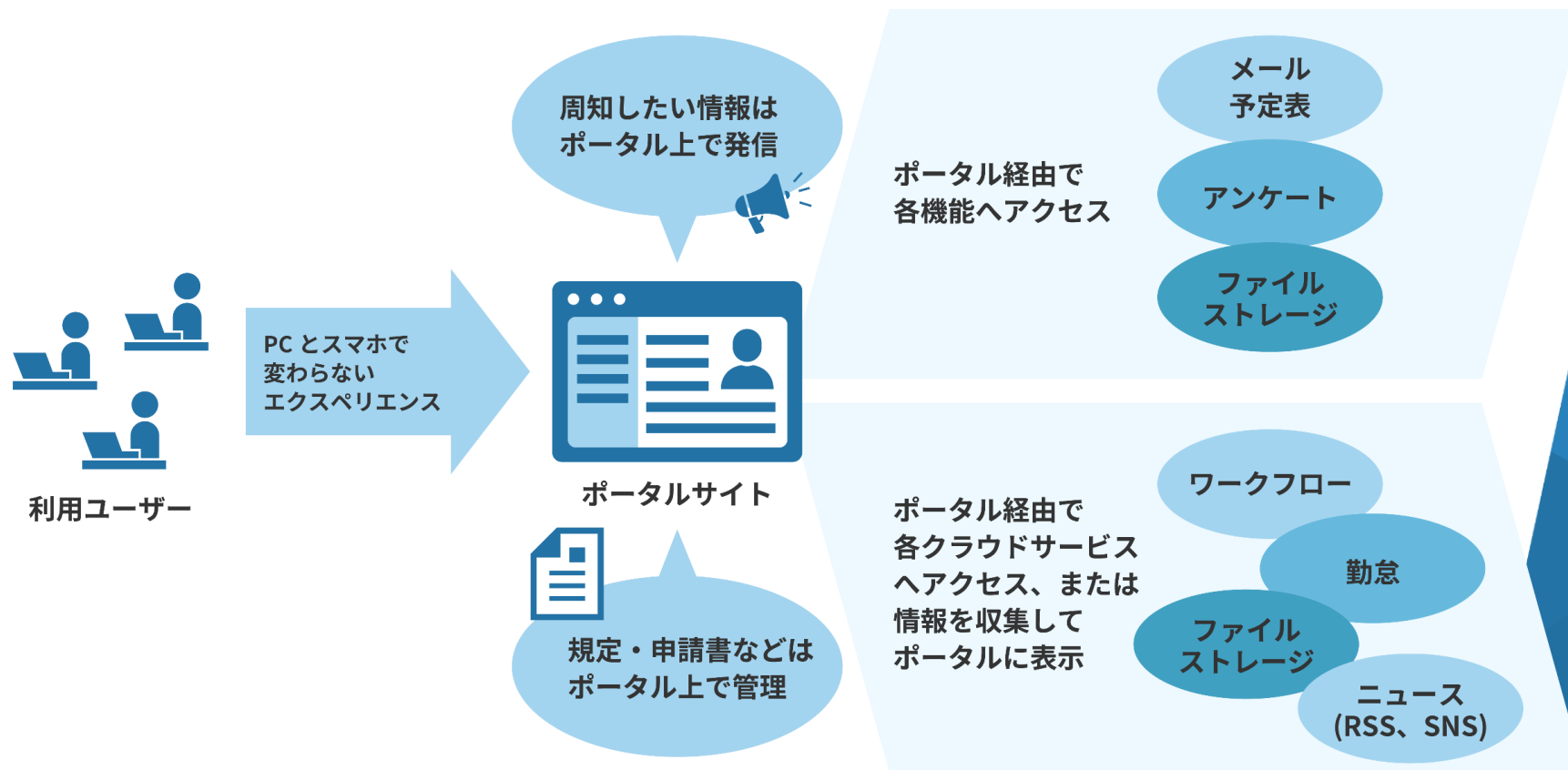
ひと目で使い方がわかる！社内事情に合わせたデザインに	9
組織ごとにポータルを一元管理	10
更新しやすい仕組み作りが必要	11
高度な検索機能でほしい情報がすぐに見つかる	12
社内ポータルを最大活用するための「Powell 365」	13

社内ポータル導入・改善のすすめ

活用される社内ポータルは「管理」が重要	15
テクバンの導入支援	16
サイト構築後の支援 ワクコレ	17
テクバンの導入支援	18

社内ポータル役割

様々な情報を一元管理に最適



ひと目で使い方がわかる！ 社内事情に合わせたデザインに

社内に合ったユーザビリティを追究

社内ポータルが活用されない原因の1つは「使いにくい」ことです。ユーザーが使いにくいと感じる主な原因は、「パッと見て、何ができるかわからない」「やりたいことがみつけれない」というポータルのデザインにあります。

マイクロソフト社の SharePoint は多機能なポータルサイト構築サービスですが、基本機能ではデザインの自由度が低いため、見やすい構成にするのには限界があります。

元々用意されたサイトテンプレートを利用すれば、低コストかつ短期間で構築できますが、社内で使いやすいとされるポータルサイトになるとは限りません。

必要な機能がすべて揃い、それらを社内事情に合わせて使いやすく配置するデザイン設計を検討する必要があります。

POINT

テンプレートだけではなく、
企業にあったデザインを心がける